

科目名		サブタイトル	担当教員	配置学年	単位数
情報リテラシー 1B～4B		情報化社会でのPCの効果的利用	佐古 仁志・宗像 俊輔 大野 俊尚・山本尚樹	2年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	情報リテラシー、ITスキル、文章作成、表計算、プレゼンテーション		
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 3. 情報化社会に対応するためのITスキルの基本処理能力を身につける				
事前に受講するとよい科目	特になし				
講義の目的	企業や一般社会、研究においてもコンピュータの活用は必要不可欠なものとなっている。本講義では、効率的かつ安全なコンピュータの活用法を学ぶことが目的である。				
到達目標	ICT知識の修得と「ICTプロフィシエンシー検定試験（P検準2級）」合格レベル				
講義内容	本講義は、「情報リテラシーA」とともに一連の内容を扱う。「情報リテラシーB」では、表計算ソフトにおけるデータ処理及びプレゼンテーションソフトの活用について実習を通して学ぶ。また、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト相互の連携やより実践的な使い方を通し、様々な場面に対応できるコンピュータスキルを身に付ける。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	オリエンテーション	コンピュータ知識		
	第2講	表計算ソフトの活用(1)	表示形式、条件付き書式		
	第3講	表計算ソフトの活用(2)	高度なグラフ、ピボットテーブル		
	第4講	表計算ソフトの活用(3)	データベースの活用、マクロの作成		
	第5講	表計算ソフトの活用(4)	ワープロソフトとの連携		
	第6講	表計算ソフトの活用(5)	問題演習とその解説		
	第7講	プレゼンソフトの活用(1)	作成、オブジェクトの挿入、構成の変更		
	第8講	プレゼンソフトの活用(2)	特殊効果、印刷、他のアプリケーションとの連携		
	第9講	プレゼンソフトの活用(3)	スライド共通デザイン、便利な機能		
	第10講	プレゼンソフトの活用(4)	課題発表(1)		
	第11講	プレゼンソフトの活用(5)	課題発表(2)		
	第12講	コンピュータ基礎知識(1)	情報通信ネットワーク		
	第13講	コンピュータ基礎知識(2)	情報モラルと情報セキュリティ		
	第14講	全体のまとめ(1)	問題演習とその解説(P検準2級の模試)		
第15講	全体のまとめ(2)	自由研究論文フォーマットの使い方			
指導方法	本講義は講義と演習を並行して行う科目である。授業に出席し、かつ、PCで毎回出題される課題を完成させることが重要となる。必要に応じて宿題を課すことがある。				
事前学習	テキストを一読し、PC上の操作より目的をまずはっきりさせておくことが重要である。1時間程度の学習時間が目安である。				
事後学習	操作をもう一度PC上で再現し、可能であれば別のファイルでも習った機能を使ってみることで、利点や問題点が明らかとなる。また、様々なケースについて機能を適応させることの繰り返しによって、PC活用の熟達度を上げることができる。1時間程度の学習時間が目安である。				
成績評価方法	本試験(筆記試験)：30%、平常点(授業内課題と授業内小テスト)：70%。授業期間内にP検準2級以上に合格した場合は、本試験を免除する。				
テキスト	「情報リテラシー アプリ編 (Windows 10・Office 2016 対応)」FOM 出版 ISBN コード 978-4-86510-347-2				
参考書籍	講義内で適宜指示する。				
特記事項	原則として「情報リテラシーA」(前期)と同じクラスで受講すること。必要に応じて、個別に教員からクラス替えを指示する場合がある。				